

児童の主体的な学びを促す算数科指導  
～問題解決的な学習の実践・改善を通して～

海田町立海田小学校

## 1 はじめに

安芸郡小学校教育研究会算数部会では、「児童の主体的な学びを促す算数科授業の創造」をテーマに取り組んでおり、所属校においては、思考力や判断力を高める算数科を研究教科に加え、「問題解決的な学習の実践・改善を通して、主体的に学びを深める児童の育成」に取り組んでいる。身に付けさせたい資質・能力として「メタ認知」「コミュニケーション力」「主体性」を設定しており、「自分の生活と関連付けて考えることができる振り返りの充実」「主体的に話し合い、考えを深めることができる発問づくり」「児童が自分事として捉えることができる課題設定」に力を入れてきた。

## 2 実践例

### (1) 研究主題

児童の主体的な学びを促す算数科指導～問題解決的な学習の実践・改善を通して～

### (2) 仮説

児童が「解決したい」「探究したい」と思える課題と出会わせ、授業展開や発問を工夫し、振り返りを効果的に活用することで、育成したい資質・能力である「メタ認知」「コミュニケーション力」「主体性」を教科横断的に高めていけば、児童の主体的な学びを促すことができ、学びをさらに深めることができるであろう。

### (3) 実践事例

第5学年「変わり方を調べよう」

- ① 「比例」の関係について理解する。
- ② 比例の関係を使って、表にない部分の体積の求め方を考え、説明する。
- ③ 数直線が比例の関係を表していることを理解し、数直線を活用して問題を解決する。
- ④ 比例の関係を活用して階段の段数から床の高さを求める問題に取り組む。
- ⑤ 身の回りにある比例関係にあるものを探す。

## 3 成果と課題

### (1) 成果

- ① 振り返りでは、書く視点を児童に選択させることで、学習を通して身に付いた力や、学んだことが生かせそうな場面について考えることができるようにした。児童はこれまでの学びや自分の成長を確認したり、算数で学んだことが生活とつながっていることを実感したりすることができた。
- ② 問題を解く際、表や数直線に表したり、関係を矢印等がかいたりすることが自然とできる児童が増えた。このことによって、関係を適切に把握し、思考する児童が増えた。
- ③ 毎時間、振り返りを活用して前時までの学習とのつながりをもたせたことによって、主体的に学習に取り組むことができた。

### (2) 課題

- ① 学び方や進度の選択肢を増やし、自分で調整しながら学ぶことができる工夫を行っていく。
- ② 課題に対して、領域を越えて関連付け、粘り強く思考する力を今後も身に付けさせていく。